

令和2年4月27日

# 事業者の課題解決に向けた 標準化活動と共通プラットフォーム

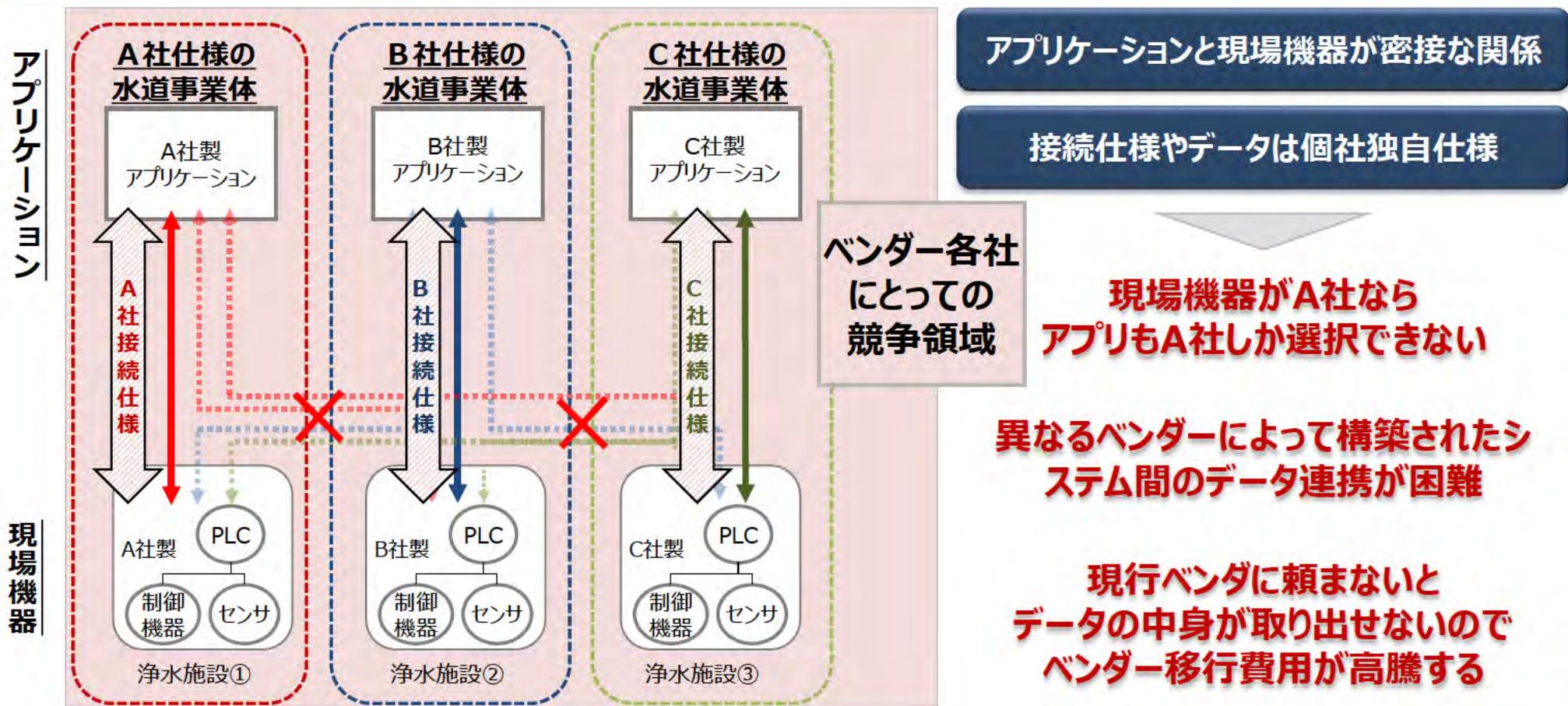
水道情報活用システムにおける  
競争領域と協調領域の策定を題材に

2020年4月

経済産業省

# 上水道事業が抱える課題に対するデータ利活用の課題

- **上水道の事業体**は、職員数の減少・ベテラン職員の退職が進み、施設老朽化による維持管理コストの増加や人口減少に伴う給水収入の減少など、**課題に直面**している。
  - 特に、**小規模な水道事業体**における持続可能な運営は困難に。
- **データ利活用**による事業の効率化や施設の最適運用などが期待されるが、**課題も多い**。

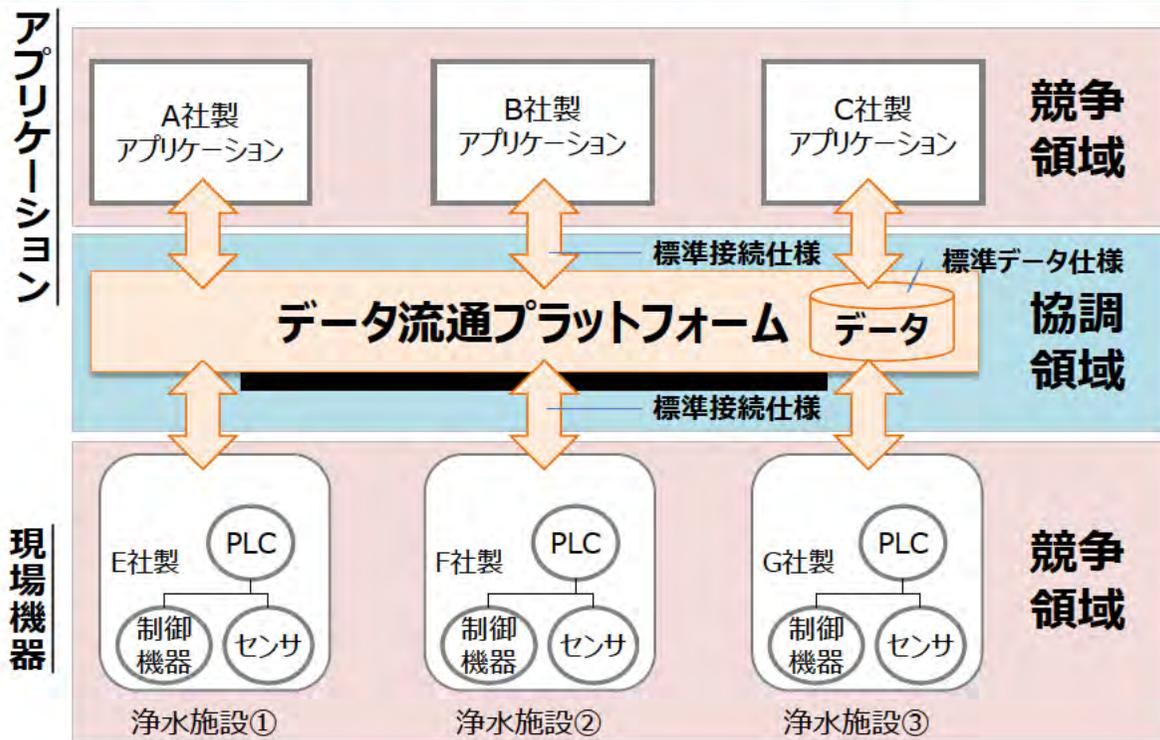


# 上水道分野の課題解決に向けた取り組み

- **データ流通における共通ルール**を策定するために、経済産業省は厚生労働省と連携し、4地域の事業者をフィールドとして、2016年度から2018年度にかけて実証事業を実施した。
- 経済産業省では、2019年度から水道標準プラットフォームを構築・運営する事業者に対して補助を行い、2020年度からサービス提供を開始。事業者の選定においては、既存のベンダーに対する中立的な位置づけを重視。
- 厚生労働省の補助事業とも連動し、水道標準プラットフォームの周知・普及に取り組む。
- 4事業者における実証の状況を学識経験者や他の事業者と共有し、**事業者の課題解決に何が重要かを議論**いただいた。特に、ベンダー中心の議論は技術論・ツール導入に偏ることが多いため、事業者側の意見を集約しながら、事業者の協調領域やベンダーの非競争領域の策定を中心に、**共通プラットフォームのグランドデザインを具体化**させた。
- グランドデザインの設計においては、所管省庁（本件では厚生労働省）の役割が重要である。特に、ベンダー各社にとっての競争領域を再構成することになるため、所管省庁が目指す政策を実現する上で、水道事業者及び既存ベンダーに影響を与えていくことが必要である。

# 水道における競争領域と協調領域 ～グランドデザインによる整理～

- 水道設備、水道を担う人々の役割毎の生産性向上を目指すことが重要。データ利活用  
の自由(データは事業者のもの)、ベンダー選択の自由(適正な競争の維持)が必須。
- この目標に向けて全体を「現場機器」、「データ流通プラットフォーム」、「アプリ」の3レイヤ  
に分解し、それぞれの間のインタフェースと、プラットフォーム内部のデータ仕様を標準化。
- データ流通プラットフォームは協調領域、現場機器とアプリケーションは競争領域と整理し  
ているが、プラットフォームが他に現れることを排除していない(オープン標準)。



プラットフォームにデータを保有し  
仕様を標準化

レイヤ間の接続仕様を標準化

現場機器と異なるベンダーの  
アプリも活用可能

データは事業者が保有、ベンダー  
スイッチ時にもデータ移行費が不要